

評価項目	選定における着目点	評価				
		2A	A	B	-	C
地域条件	沖縄県内の本店及び支店、営業所の所在		本店あり	支店又は営業所あり		本店又は支店、営業所なし
手持ち工事の状況	開発建設部発注の手持ち工事と、今回工事規模との比較  手持ち工事の額 = 当該工事業者の等級の上限額		が 0.5以下のもの	が 0.5を超え 1.0以下のもの		が 1.0を超えるもの
施工実績	過去10年間の同種又は類似工事の実績 但し、JVでの実績は出資比率20%以上のものに限る。  発注機関別実績は留意事項1)による。	(同種) ・総合事務局 ・県内自治体	(同種) ・他省庁 ・県外自治体	(同種) ・民間		実績なし
	過去1年間の近隣地域(沖縄県内)の当該工種(官民を問わず)における工事	4件以上	3~2件	1件	実績なし	
技術者評価	配置予定技術者の過去10年間の同種又は類似工事の経験 但し、JVでの実績は出資比率20%以上のものに限る。  発注機関別実績は留意事項1)による	役職経験あり (同種) ・総合事務局 ・県内自治体	(同種) ・他省庁 ・県外自治体	(同種) ・民間		実績なし
	「役職経験あり」とは、現場代理人、主任技術者、監理技術者での工事実績を有する場合とする。 ただし、県内自治体等から発注された工事をJVで受注した場合には主任技術者、監理技術者での工事実績を有する場合とする。 それ以外の技術者での工事実績を有する場合は「役職経験なし」とする。	役職経験なし (同種) ・総合事務局 ・県内自治体	(同種) ・他省庁 ・県外自治体	(同種) ・民間		実績なし
	配置予定技術者の当該工種における資格 <建築> 一級建築士、一級施工管理技士 <設備> 技術士、建築設備士、一級施工管理技士		資格取得後3年以上	資格取得後3年未満		資格が要件を満たさない
安全管理の状況	過去1年間の沖縄県内における事故状況		事故なし		事故あり	
その他の技術的適性	技術開発への取組		優	良	可	
	優・良・可の評価は留意事項2)による 赤土等流出防止対策への取組		優	良	可	
指名回数	優・良・可の評価は留意事項2)による 当該年度の開発建設部内の指名回数		3回以下	4回以上		
工事成績	本官契約+分任官契約(5事務所) 開発建設部内での過去5年間の同種工事における成績点の平均点 工事成績は留意事項3)による。	75点以上	70点以上 75点未満	65点以上 70点未満	65点未満 又は 実績なし	過去5年間で2回以上60点未満の工事がある場合
表彰	過去3年間における優良業者表彰(局長、室長)の実績 工事成績は留意事項4)による。	2年連続表彰 1.5A:局長表彰	室長表彰			

(留意事項)

- 「施工実績」及び「技術者評価」における、発注機関別の実績等は、下記のとおりとする。
  - 総合事務局には、国土交通省を含む。
  - 他省庁とは、総合事務局及び国土交通省以外の省庁をいう。
  - 県内自治体等とは、沖縄県、沖縄県公社、沖縄県内の市町村及びこれと同等と認められる機関をいう。
  - 県外自治体等とは、沖縄県以外の都道府県、政令指定都市、沖縄県以外の県公社、県外市町村及びこれと同等と認められる機関をいう。
  - 民間とは、上記以外をいう。
- その他の技術的適性は、下記のとおりとする。
  - 技術開発への取組
    - 優とは、当該工事に直接関連する技術開発等への取組(特許等)が顕著に認められるもの。
    - 良とは、当該工事に直接関連しないが、技術開発等への取組(特許等)が認められるものや、ISO9000シリーズを取得しているもの。
    - 可とは、一般的記述に終始した内容のもの。
  - 赤土等流出防止対策への取組
    - 優とは、当該工事対策への取組が顕著に認められるもの。
    - 良とは、当該工事対策への取組が認められるもの。
    - 可とは、一般的記述に終始した内容のもの。
- 工事成績は、下記のとおりとする。
  - 成績点の平均点は、小数点2位以下切り捨てて小数点1位止めとする。
  - 実績なしとは、過去5年間で開発建設部内の施工実績がないもの、及び成績評価がなされていないものをいう。
  - 過去5年間で1件でも60点未満の工事がある場合は3点を減点する。
- 2年連続表彰とは、局長表彰、室長表彰にかかわらず過去2年間連続して表彰を受けたもの。
  - 室長とは営繕監督保全室長及び事務所長をいう。
- 評価項目 ~ 及び ~ でCが一つでもあれば非指名とする。
- 評価項目 ~ でAの数が多業者から、10社を基本(概ね10社程度)に選定する。